

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2006-212063(P2006-212063A)

【公開日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2006-032

【出願番号】特願2005-24932(P2005-24932)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入出力用コネクタを有し、遊技機の遊技状態を制御する主基板と、
該主基板を覆うカバーボディと、
該カバーボディと密封部材により結合される台板と、を備え、
前記カバーボディと該台板の結合により、前記カバーボディ内に前記主基板を密封し、
前記カバーボディには前記入出力用コネクタに対応して形成される第1開口部を設け、
前記第1開口部を介して、ハーネスを有する接続用コネクタを、前記入出力用コネクタ
に挿脱させる基板収納ケースにおいて、

前記ハーネスを貫通させることができ、かつ前記接続用コネクタを通過させることができない大きさの第2開口部を備えたスペーサを、前記第1開口部に脱着可能となるように設け、

前記スペーサを前記第1開口部から取り外すことにより、前記入出力用コネクタから前記接続用コネクタが取り外し可能となることを特徴とする遊技機の基板収納ケース。

【請求項2】

前記第1開口部に設けられた前記スペーサの取り外しを、前記基板収納ケースの外部から行うことを防ぐ取り外し防止部を前記スペーサに備え、

前記密封部材を破損し密封を解除した後、前記台板と前記カバーボディとを開封することにより、前記第1開口部からの前記スペーサの取り外しが可能となることを特徴とする請求項1に記載の遊技機の基板収納ケース。

【請求項3】

前記スペーサは、前記第1開口部から前記スペーサが取り外された状態において、前記スペーサの外部から前記第2開口部へ前記ハーネスを導くための通路を有することを特徴とする請求項1または2に記載の遊技機の基板収納ケース。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】